

／ やりました！ 活動報告会

2025年2月14日 於 遊佐町役場議場



今年度も活動報告会を実施しました！いい質問には座布団を差し上げるなど、演出を
あのご長寿落語番組風に。会場には約60名もの方々にお越しいただき、大盛況の報告
会となりました。お越しいただいたみなさん、ありがとうございました！
今年もライブ配信を行い、当日の様子は右の2次元コードよりご覧いただけます♪



ゆざまち協力隊のつぶやき



渡辺真央 @DX推進支援・スマホ道場初代師範
この前、西浜海岸に1.3mくらいのマンボウが打ち上げられていました！水族館でしか見たこと無かったからンモ〜びっくり。大洋と繋がっている海が身近にあることを実感するまち、遊佐。



吉田実 @遊佐高暮らしのコーディネーター
あと何回桜が見られるだろう…と、よく言いますよね。そんな悠長なこと言ってもらえません。来年は見られないかもしれない。今この瞬間をじっくり味わいましょう。ビール片手にタラの芽の天ぷらで乾杯🍻



竹内万葉詩 @遊佐高暮らしのコーディネーター
この度少し早く協力隊を卒業することになりました。本当にたくさんの方々にお世話になり、感謝しきれないほどです。遊佐での暮らしは続きますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



渡辺力 @観光振興・鳥海山・飛島ジオパーク推進
今年度も暖かく活動を見守っていただきありがとうございました。何といてもジオパーク再認定がめでたい！世界認定に向けより活発な活動を頑張ります！報告会の配信も担当したのでぜひご覧ください📺



下村俊太郎 @遊佐高教育コーディネーター
この間、初めてスノーボードをしました。思ったより上手く出来てハマりそうです。せっかく雪の降る土地に来たので、今シーズン中にもう一回は行きたい！



秦秀平 @DX次世代人材育成支援・スマホ道場2代目師範
真央さん＞それはマンボウの写真ですか？（笑）まあ冗談はさておき、活動報告会いかがでしたか？某番組風の凝った演出、楽しんでいただけたら幸いです。来年のハードルを上げてしまったな（笑）



早坂豊美 @情報発信・水循環保全啓発
最近ハマっていることがあります。一つは町の方とのしなべじり。もう一つは、ポールストレッチ教室。オパアな私が若く見えるのは、首筋と肩甲骨の運動をしているから。仲間募集中です。来てねー!!



白井駿平 @情報発信・水循環保全啓発
遊佐町へ移住して半年。日々のできごと一つ一つが新鮮で刺激的で、充実した私生活を過ごせています。少しずつ気持ちのゆとりも出てきた気がするので仕事面ももっと充実させたい今日この頃です。

ゆざまち 協力隊通信

終わりは次の始まり！の3月号



来ちゃいなよ。
ゆざまち
遊佐の魅力を発信するWEBメディア



「来ちゃいなよ。ゆざまち」facebook
@yuzamachicom



／ほぼ／日めくり！ゆざ！Instagram
@himekuri_yuza





遊佐高校学生生活支援業務担当

吉田 実

よしだみのり（愛称：みのりん）

好きな遊佐町のお店：ちどり

遊佐高校魅力化推進業務担当

下村 俊太郎

しもむら しゅんたろう（愛称：しもむー）

好きな遊佐町のお店：青大将

遊佐高だからこそその 学校生活を支える

ー活動の概要を教えてください。

吉田：遊佐高校には「地域みらい留学」という制度で他の県から進学し遊佐町で寮生活をしている生徒が17人*いまして、彼ら彼女らの生活全般のサポートをする活動をしています。寮の備品管理や修繕、寮母さんの日替わりシフトの管理の他、生徒の通院の送迎をしたり学校への遅刻欠席の連絡をとりまとめたり、生徒との日々の何でもない会話や悩み相談も大事な活動です。“サポート”の形は本当にいろいろあります！（笑）

下村：「総合的な探究の時間」という科目の授業を通して、遊佐高校の教育の魅力をより拡大する活動をしています。先生方と打ち合わせながら授業の設計をしたり、僕が実際に授業をしたりすることもあります。また、探究の授業に関連する全国各地のイベントに生

*2025年1月末時点

徒が参加する時には、その準備に伴走したり現地まで付き添って当日の生徒の発表をサポートしたりもしています。

ー活動の大変さとやりがいを教えてください。

吉田：生徒の生活支援のため学校や先生、地域、親御さんと生徒の間に入って種々の調整が必要になることも多いのですが、それを円滑に行うのは大変ですね。複雑で正解のない問題が時間に関係なく起きて、なかなか思い通りにいかないことも多いです。

下村：暮らコー*って、一番人間的に成長できる仕事だよ。あらゆる世代の人と関わり続けるから人生の経験値はすごく得られると思う。

吉田：それは本当にそう！何か問題が起きた時、それが発生した背景や要因が一つだけじゃなくて様々に関連しているから、物事を見る視点が広がるなって思う。

*学生生活支援業務担当の通称。「暮らしのコーディネーター」の略。



生徒も学校も隊員も みんなで成長

自分自身人間的に成長していると感じますし、生徒の変化を目の当たりにした時は感動しますね。

下村：僕自身以前学校の教員をしていたので分かるのですが、先生方の「学校とはこういうもの」という認識を緩和していくことは大変ですね。それでも、外部の人が学校に関わる機会が増えるなど少しずつ変化していることは実感していて、“新しい学校の景色”を先生方と一緒に作っていていることにやりがいを感じています。

1年間でイチバンの/ 印象的な活動内容

デュアル実践成果発表会



下村：遊佐高には、半年間、週に1日事業所で就業体験をする「デュアル実践」という授業があります。就業の翌日に毎回行う振り返りの時間の伴走で僕も授業に携わりました。その成果発表会を昨年9月に実施し、生徒のみんなが自分の言葉で成果を伝えられていたことや、僕は発表内容の掘り下げで、先生方は所作などの面で、それぞれの立場でともに生徒を支援していい発表会にできたことが印象に残っています。

来年度の寮決めミーティング



吉田：地域みらい留学生たちがどこの寮で生活するかは、毎年度生徒主体の話し合いで決めています。例年難航しがちな話し合いですが、今年は生徒のみんなの中に「どのメンバーになっても結局は楽しくやっていける」という思いがあり、とてもいい話し合いが行われていました。この1年悩んでいる姿もたくさん見てきたので、共同生活についてたくさん努力して学んできたことが分かり、心が熱くなりました。

遊佐高を卒業する3年生へのメッセージ

優しさを忘れず活躍を

下村：クラスに遊びにいくと、のど飴をくれる子がいたり、椅子を出してくれる子がいたり、優しく穏やかな3年生。これも担任の長尾先生の影響だと思います。ぜひ培った優しさを忘れず、卒業後もそれぞれの場所で活躍してほしいです。私は少なくとも協力隊をしている間は遊佐にいますので、ぜひ卒業後も遊佐に来たときは会いましょう！



みんなとの出会いに感謝

吉田：私が遊佐に来たのはみんなが2年生になる前の3月でした。私よりもみんなの方が遊佐歴が先輩なので、未だにみんなを見るとちょっとだけ先輩だって思っちゃいます笑色々あったな～ほんと一瞬だったな～と、みんなも同じ気持ちだと思います。私たちの人生の中の遊佐で過ごしたたった3年、されど3年、が私たちにとって良きものだったと振り返る日が来ますように^^私と出会ってくれてありがとう！